

帝王切開術について

★どんな時に行うの？

- ・骨盤位(さかご)分娩
- ・前置胎盤
- ・児頭骨盤不均衡
- ・重症の妊娠高血圧症候群
- ・多胎分娩
- ・早期産(未熟な児)
- ・ママに病気がある場合
- ・帝王切開術や筋腫核出術の既往がある場合
- ・性器ヘルペス
- ・常位胎盤早期剥離
- ・胎児循環不全
- ・子宮内感染
- ・遷延分娩・分娩停止
- ・胎児異常

など

★麻酔は？

・腰椎麻酔が全身麻酔になります。麻酔科で診察を受けていただき決定します。

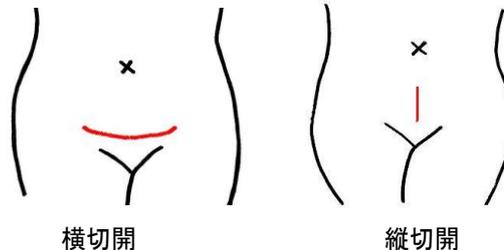
★時間は？

所要時間は、1時間～1時間半です。麻酔や手術の準備などを含めると2時間程度かかります。

★どんな手術なの？

下腹部を縦か横に約12～15cmほど切り、腹壁、筋膜、腹膜を切ったあと子宮を切開し、赤ちゃんを取り出し、臍帯を切ります。

* 横切開はできない場合もあります。



★合併症は？

- ・多量出血 ————— 輸血を行います。前置胎盤、多胎分娩など多量出血が予想される時は自己血を手術前数週間かけて採っておくこともあります。
- ・膀胱・尿管、腸管損傷 ———— 子宮の近くの臓器ですので損傷する可能性があります。損傷した場合は術中に修復します。
- ・深部静脈血栓症 ————— 長時間、同じ体勢になるため血栓ができやすくなります。マッサージ機を装着したり、弾性ストッキングをはいて予防します。



腰椎麻酔の場合は意識があるので、赤ちゃんの産声が聞こえます。赤ちゃんの状態がよければ、触ったり面会もできます。助産師が写真を撮ったりできますので、ご希望の方は申し出てください。

入院後、ご希望の方には、手術看護師による術前訪問も行っています。

